

4月23日は「西尾市子ども読書の日」

西尾っ子読書フェスティバル

4月23日の「西尾市子ども読書の日」を記念して、市内の各図書館で、西尾っ子読書フェスティバルが4月23日から5月8日にわたって開催されました。23日には西尾市立図書館で紙芝居のお話し会があり、物語に引き込まれた子どもたちの真剣な顔や笑顔であふれていました。吉良図書館など3館では、だるまさん人形作りが催され、多くの親子が工作を楽しみました。各館でさまざまなイベントが行われ、子どもから大人までたくさんの方が、読書に親しみました。



貴重な里山の環境を守ります

万灯山 保全活動

里山の保全活動が、4月16日にいきものふれあいの里サブゾーン(万灯山周辺)で行われました。約80人の市民ボランティアが参加し、2班に分かれて活動。野鳥の森散策路の周辺では、職員の指示の下、倒木の片付けや竹林の整備・下草刈りなどの奉仕作業が進められました。春の陽気の下、参加者は慣れない作業の多い中、のこぎりや鎌を手にとって、お互いに声を掛け合い、協力しながら作業し、気持ちの良い汗を流しました。



とれたてのおいしさを見守る子どもたちに伝えました

4月19日は 良いきゅうりの日



4月19日は「良いきゅうりの日」。西三河地域の生産者で組織する「西三河冬春きゅうり部会」の皆さんが東幡豆小学校を訪れ、5年生の児童にきゅうりについての話をしました。その後、新鮮なきゅうりを使った献立の給食を共に楽しみました。

地域ブランド「西尾の抹茶」に思いを込めて

抹茶スイーツ選手権

第3回高校生パティシエによる抹茶スイーツ選手権が5月1日、おしろタウン・シャオで行われました。東海・北陸・近畿の2府11



県から128チーム(23校)がエントリー。書類選考を経て、最終実技審査へ進んだ5チームは、買い物客が見入る中、見事なチームワークでオリジナルの抹茶スイーツを作り上げていました。名古屋調理師専門学校「アベイユ」チームが初優勝しました。

長年にわたる多大な功績

春の叙勲・褒章

春の叙勲と褒章の受章者が、4月29日に内閣府から発令されました。市内では、生活衛生功労の前田孝二氏(住崎三丁目)が旭日双光章、防衛功労の貝吹孝夫氏(鳥羽町)、地方自治功労の新家正義氏(戸ヶ崎四丁目)が瑞宝小綬章、地方自治功労の山田英通氏(一色町)、教育功労の渡邊賢一氏(今川町)が瑞宝双光章、児童福祉功労の黒邊優美子氏(市子町)が瑞宝単光章を受章されました。



塩づくりを体験できます

吉良饗庭塩の里 開館式典

旧吉良文化広場に整備された、塩田体験館「吉良饗庭塩の里」の開館式典が4月16日に行われました。体験館では、本格的な塩田での塩づくり体験を通して、塩田の歴史と塩の製法を楽しく学ぶことができ、今後、市の新たな観光交流拠点として活用されます。式典の後には、新しい復元塩田で入浜式塩田体験者5人による塩づくり作業の実演が行われ、砂を塩田にまくなどの作業を参加者に披露しました。



新茶の香りが茶園に広がる

西尾の抹茶 八十八夜行事



上町にある稲荷山茶園公園で5月2日、八十八夜行事が行われました。西野町小学校の3年生児童43人が野外体験学習として参加。西尾茶業クラブと吉良茶研究会メンバーの手ほどきの下、手もみ茶づくりや石臼挽き、抹茶点てを体験しました。手もみ茶づくりでは、木枠に和紙を張った焙炉と呼ばれる道具で加熱しながら、生葉を手でもむという古式ゆかしい製茶法を学びました。児童たちは楽しそうに茶葉に触れ、地元の郷土文化を肌で感じていました。

消防業務を見て、聞いて、体験

消防本部インターンシップ

消防本部インターンシップが4月23日、就業体験の機会の提供と職業意識の向上を目的に消防本部で行われました。昨年に続き2回目の開催で、女性を含め、市内外から消防業務に興味のある高校生や大学生、専門学校生31人が参加。施設や指令台の見学、消防車両を使用する放水体験、心肺蘇生法やAEDの使い方など消防業務全般を学びました。また、実際にあった火災の体験談や仕事内容などを現役の消防士に積極的に質問し、消防業務への理解を深めていました。



三ヶ根山頂でのさわやかな1日

三ヶ根山青空フェスティバル



ゴールデンウィーク真っ只中の5月3日、三ヶ根山山頂で第11回三ヶ根山青空フェスティバルが開催されました。この日は悪天候が心配されていましたが、無事11年連続「青空」の下での開催となりました。開放感あふれる特設会場では、ハーモニカ演奏やミュージック空手、和太鼓演奏などが披露され、観客から大きな拍手が送られていました。また、飲食などのブースが立ち並んだほか、ヨガ体験や宝探しゲームも開催され、大勢の人でにぎわっていました。